

平成22年度

自ら学ぶ力と豊かな心を育てる  
情報教育をめざして  
～メディア活用で育てる情報活用能力、  
メディア活用で伸ばす確かな学力～



川崎市立小学校情報教育研究会

## 目 次

はじめに .....	1
<b>I. 研究報告</b>	
1. 川崎の情報教育 .....	2
2. 今年度の研究 .....	4
3. 授業実践	
(1) 「確かな学力」をテーマにした研究授業 .....	6
(2) 「情報活用能力」をテーマにした研究授業 .....	12
4. 今後の課題（次年度へ向けて） .....	18
<b>II. 事業報告</b>	
1. 平成 22 年度活動経過 .....	19
2. 事業内容	
(1) 情報（視聴覚・放送）主任会 .....	21
(2) 図書主任会 .....	22
(3) 夏季会員研修会（ICT） .....	23
(4) 夏季会員研修会（図書） .....	24
(5) 読書感想文・感想画コンクール .....	25
(6) ビデオ映像創作展 .....	26
3. Web サイト・情報かわら版 .....	27
おわりに .....	29
研究組織図 .....	30
研究に携わった人 .....	31

## はじめに

学習指導要領の総則には「各教科等の指導に当たっては、児童がコンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段に慣れ親しみ、コンピュータで文字を入力するなどの基本的な操作や情報モラルを身に付け、適切に活用できるようにするための学習活動を充実するとともに、これらの情報手段に加え視聴覚教材や教育機器などの教材・教具の適切な活用を図ること」とあります。既に各学校では情報機器を有効活用するよう様々な工夫がされていることと思います。本研究会では「川崎の情報教育」として現在の情報教育の状況を踏まえた上で、理論研究を進め、情報教育の指導法の研究や学習環境の在り方、情報教育の内容などを示していこうと考えてきました。また、放送・視聴覚・図書・コンピュータ等を活用した実践研究を行ってきた中で、平成22年度の研究テーマを以下のように設定しました。

### 「自ら学ぶ力と豊かな心を育てる情報教育をめざして」

#### ～メディア活用で育てる情報活用能力、メディア活用で伸ばす確かな学力～

上記研究テーマを具現化するために、2回の授業研究を行い研究推進に努めてきました。第1回目の授業は、研究主題のサブテーマである「メディア活用で伸ばす確かな学力」に視点を置き、NHK学校放送番組の視聴と、電子黒板の有効活用法を探りました。第2回目は、もう一つのサブテーマである「メディア活用で育てる情報活用能力」に視点を置いた授業研究を行いました。子どもたちが自ら選んだ図書資料から情報を選択・収集し、教科の目標を達成しながら情報活用能力の育成をめざしました。

児童に求められている、情報を適切に活用する力の育成や表現力の向上を図るためには、まず、指導者側のリテラシーを高め、ここのスキルアップを図ることが必要です。また、学習者の目線に立った分かりやすい指導が重要になることは言うまでもありません。そのための研修にも力を注ぎ、川崎市総合教育センターとの共催研修として「教育の情報化」をテーマに、各教室に導入された大型テレビを授業の中で有効活用するための研修を実施しました。また、「ブックトーク」をテーマとした研修では、ブックトークのねらい・方法を学び、最後に発表会を行うなど実践的な研修を行いました。

また、長年にわたって実施している読書感想文コンクール・読書感想画コンクールやビデオ映像創作展といった子どもの豊かな心の育成と表現力の向上に関わる事業にも積極的に取り組み推進してきました。

広報活動としては、Web や「情報かわら版」(研究会会報)を通して、研究会活動の発信に努め、共に学び合う体制作りをめざしてきました。

ささやかな内容ですが、ここに研究会の活動を冊子にまとめました。この1年間の会員の研修や実践の跡をご高覧いただき、ご指導ご示唆をいただければ幸いです。それらを支えとして、「川崎の情報教育」を更に高めていきたいと考えております。

最後になりましたが、本研究会にいつも変らぬご理解とご支援を賜りました川崎市教育委員会の皆様、川崎市総合教育センターの皆様方には深くお礼を申し上げますと共に今後のさらなるご指導とご協力をお願い申し上げます。

川崎市立小学校情報教育研究会  
会長 高橋 邦夫

## I. 研究報告

### 1. 川崎の情報教育

#### ○ 私たちの考える川崎の情報教育

一般的に情報教育の目標は、「情報活用能力の育成」であり、さらにそれを

- ① 情報活用の実践力
- ② 情報の科学的な理解
- ③ 情報社会に参画する態度

の3つに分類して、小学校から中学校、高等学校へと系統的に指導されてきています。数年前までは小学校段階では、①情報活用の実践力を重点的に指導することが多く、このことから情報教育というと、コンピュータや映像機器の活用を指導することと、とらえられてしまうことが少なからずあったように思います。

しかし、私たち川崎市立小学校情報教育研究会では以前より「図書」や「映像・放送」などの多様なメディアを活用していくことで、子どもたちの心や感性を育むことを大切にしていきたいと考え、研究を進めてきました。より多くのメディアから必要な情報を取捨選択し、加工・表現していく中で、自ら学ぶ力が育成されることが重要だと私たちは考えています。

また、ICT機器の普及により、コミュニケーションの形態も多様になってきました。このような社会を生き抜くためにも、心豊かな子を育てることが大切だと考えています。

#### ○ 心豊かな子を育てる情報教育

本研究会では前述した図書資料や映像・放送資料などを活用する「メディア活用」については、「日常の実践に『メディアを通して心を動かす』という活動を組み込む」ことを今年度も引き続き重視して行っていく予定です。これにより「心豊かな子を育てる情報教育」に迫りたいと考えています。

本研究会はこれまでに図書資料や映像・放送資料を活用した様々な実践を積み重ねてきました。その積み重ねの中に心を動かす図書教材や映像教材も多々ありました。そうしたこれまでの取り組みの上に、さらなる活用や実践を積み重ね、学びの主体である子どもたちがメディアを適切に活用し、コミュニケーションできるようにすることにより、心豊かな子を育成していきたいと考えています。

#### ○ 新学習指導要領の中での情報教育

来年度より「新学習指導要領」が全面実施となります。その改訂のポイントの一つに「教育の情報化」があげられます。私たちが研究を進めてきた「子どもたちの情報活用能力を育成する情報教育」の加え、「教科指導におけるICT活用」や「校務の情報化」も学校教育の質を向上させるために、重要であるとされています。そこで、ここ数年は校内におけるICT環境の変化に対応し、有効に活用することができるような授業提案にも力を注いできました。

こうした教育の情報化の新しい流れと、これまで川崎市の情報教育が培ってきたことを踏まえながら今年度の本研究会の研究を進めていきたいと考えています。

平成18年に文部科学省より出された「初等中等教育における情報化に関する検討会報告書概要」の中の「情報教育の考え方の整理（教育の情報化と情報教育の整理）」では「各教科等において、情報機器を活用しさえすれば情報教育を行った、ということにはならない」「情報教育に位置づけられるためには、実際に指導を行う教員が、IT活用が子どもたちの情報活用能



### 3. 授業実践

#### (1) 「確かな学力」をテーマにした研究授業

日時・場所：平成22年7月14日(水) 第5校時 平小学校第5学年3組教室

指導者：福山 創 ALT：アマデウ ジラベルト マルティネス(インタラク所属)

1. 単元名 「自己紹介をしよう」(外国語活動 英語ノート I/Lesson4)

#### 2. 児童の実態

男子15名(交流級1名)、女子18名、合計33名のクラスである。昨年度は日本人講師と年間5回英語活動を行っている。英会話を習っている児童はクラスの2割程度いて、ALTの会話をある程度理解し、外国語活動に積極的に参加している。一方、ほとんどの児童は授業以外で英語に触れる機会が少なく、また、「間違っているかもしれないから」「はずかしいから」「得意ではないから」等の理由で、外国語というだけで恥ずかしさや緊張のため萎縮して消極的になってしまう傾向がある。

しかし、ALTの開放的で前向きな人柄や活動的な指導内容と、担任の海外での異文化体験を興味深く受け止めている学級の雰囲気から、外国語活動を楽しみにしている児童が多い。また、4年生の時に区の学芸大会で演劇に取り組んだ経験から、パディでの活動やロールプレイングには抵抗感が少なく、楽しい雰囲気で行うことができる。

2. 単元目標 ①日本語には様々な英語が起源の言葉(外来語)があることに気付く。

②友だちと積極的に好みを確認し合う。

③英語で自分の好みを相手に伝える。

#### 3. 単元の評価規準

コミュニケーションの態度	表現(聞く・話す)	言語や文化についての体験的理解
○自分の好みを相手に伝える。(行動観察) ※第2時	○好みについて聞き取る。(行動観察、英語ノート点検) ※第1時	○普段耳にする外来語の音と英語の音には違いがあることに気付く。 ○英語の音を聞いたまま真似て言うことの大切さに気付く。
○自分の好きなものを含めて自己紹介をしようとする。(行動観察) ※第4時	○友だちに好みを尋ねる。(行動観察、英語ノート点検) ※第3時	○自己紹介の発表をする際のジェスチャーの違いを知る。 ○ALTと好みを尋ね合う中で文化の違いに対する理解を深める。(行動観察、英語ノート点検) ※第1時

#### 4. 単元について

基本的に、文部科学省が作成した「英語ノートI」とその指導資料に基づいて行う。その際、視聴覚教材やICTを効果的に活用することで外国語活動をより充実させることをねらっている。

本単元は、すでに学習した「自分の名前」に、「自分の好きなもの」を加えた自己紹介をすることを最終ゴールの活動とする。扱う語は、児童がすでに外来語等として触れたことのある語を取り上げる。児童によっては、テキストでは取り上げていないものが好きだという場合があるが、個別指導等により、それらもできるだけ取り上げるようにする。児童の「伝えたい」という意欲を育むためである。外来語とそのもとになる語とを比較させ、発音は似ていても、正しくは日本語と英語ではその音に違いがあることに敏感に気付かせ、チャンツやゲーム等で繰り返し触れる中で、自然と聞いたままに言えるように指導する。また、友だちどうしで情報交換することで、互いの理解を深め、良好な人間関係づくりにもつなげられるようにしたい。

(2)「情報活用能力」をテーマにした研究授業

第2学年3組 国語科学習指導案

指導者 池田 ふみ子

1. 日時 場所 平成22年11月17日(木) 2年3組教室
2. 単元名 だいじなところに気をつけて読もう「サンゴの海の生きものたち」
3. 単元目標
  - 海の生き物の関わり合いについて、事柄の順序を考えながら読む。
  - 興味を持った海の生きものに関する本を選んで読み、大事な言葉や文を書く。
4. 評価規準

国語への 関心・意欲・態度	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"><li>・サンゴの海の生き物たちの様子について読み取ったことを、身体で表現したり、言葉にしたりする中で、互いの感じ方を認め合おうとしている。</li><li>・海の生き物に関する本を選んで読もうとしている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・説明文の構成や事柄の順序に気をつけながら、サンゴの海の生き物たちに関する文章を、読んでいる。(イ)</li><li>・海の生きものに関する本を読み、興味をもったことなど、大事な言葉や文を書いている。(エ)</li><li>・本の題名や目次、索引、図や写真などに着目して海の生き物に関する本を選んで読んでいる。(カ)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・主語と述語の関係に注意して文や文章を読んでいる。(イ(カ))</li></ul>

5. 児童の実態

支援級児童を含め27名のクラスである。国語の時間は22名で学習をしている。読み書きへの困難さなど、学習面で配慮を要する児童もいるが、少人数のため比較的、担任の支援はしやすいように感じられる。

全校で朝の読書に取り組んでいるので、日ごろから読書に親しむ子どもが多い。文字が苦手な子は、絵の多い本を選んで楽しんでいる。外遊びが大好きな子も、日によっては図書室に通い静かに読書を楽しんでいる。

年度当初、子どもたちは絵本や物語の本はよく読むが、本単元で使うような科学的な読み物には手が伸びないことが多いように感じた。そこで、クラスで育てている「かたつむり」「コオロギ」のことをテーマにしたブックトークをしたり、生活科の時間にポケット図鑑を使ったりすることで、少しずつ科学的な読み物にも興味が向くようになってきた。学級活動の時間に、絵本の棚・文学作品の棚・科学的な読み物の棚の3つを確認し、図書館で本探しもしてきた。

読む能力については、学級内での差が大きいことが感じられる。「本と友だちになろう」の単元では、全員がお気に入りの本の紹介をした。一文字一文字を追うことが精一杯という子は50インチ大型テレビに本を映して「機関車の絵のページが好きです。」と紹介していた。お気に入りのページだけでなく、本の要旨をまとめて紙芝居にする子もいた。個人の能力に差はあるが、楽しんだり知識を得たりするために本や文章を選んで読み、内容を読み取る力を育てていきたい。

#### 4. 今後の課題（次年度へ向けて）

今年度は『50インチ元年』とも言える年で、市内のほとんどの小学校に50インチ大型テレビが配備され（小学校計3297台）、本研究会への期待が注がれた年となりました。今までのプロジェクトは、各学校に整備されている台数が少なかったり、取り扱いが煩雑であったりしたために、活用することに戸惑いを感じるという教員もいましたが、50インチ大型テレビは教室に備え付けられているので日常的な活用ができる環境となりました。

各学校に届いたばかりの頃は、「大きすぎる」「教室のどこに置けばいいのか」という声もありましたが、『情報かわら版』を全市に配布し、研究部・研修部が共通の意識をもって活動を進めてきた結果、約1年経った今では、「写真が簡単に大きく映せて便利」「映像がはっきりしているのわかりやすい」というような声の方が大きく聞こえるようになりました。

そうした声が高まってくると、「もっと良い活用方法は？」「〇〇をするには？」などということが、ますます本研究会に寄せられるようになりました。

##### ○ ICT活用アイデア実践集

今後の課題として、第一にあげなければいけないのは、常任委員一人一人のスキルアップであると考えます。本研究会に多くの期待が寄せられている今こそ、研究を中心に常任委員研修などを進めていくことで、確実にスキルアップしていくことが大切であると考えています。

今回は第1回授業研究会を中心に検討した部会1のメンバーが中心となり実践を集めました。来年度以降はより多くの常任委員から、さらなるアイデアを持ち寄り、またお互いの実践を検証しながら、自分自身のスキルを磨き上げることをめあてとしていきたいと思っています。

##### ○ 授業実践（研究授業）

今年度の授業実践（研究授業）でも、より多くの方が明日からでもすぐに取り組めるためのもの（ICT活用＝確かな学力）と、研究会としてこれまで取り組んできたこと、継続してきたことを確認したもの（情報活用能力の育成）という形で行ってきました。

来年度は新学習指導要領が全面实施となります。私たちもこのことをきちんと踏まえて研究に取り組んでいきたいと思っています。

##### ○ その他

より多くの先生方、とりわけ情報教育研究会の会員の先生方に、必要な話題や実践の情報提供を今後もしていきたいと考えています。今年度配布した「情報かわら版」や各種研修会等を、さらに充実させていきたいと考えています。また、こうした現場に必要なものを今後も提供しながら、研究会としての活動の場や一緒に活動する仲間を増やしていきたいと考えています。

平成22年度 川崎市立小学校情報教育研究会 活動計画案①

月日	曜日	時間	活動名	会場	内容
4/7	水	18:00	常任委員会① (お知らせ)	下沼部小学校	・22年度新体制
4/14	水	15:30	常任委員会②	下沼部小学校	・22年度活動計画案、組織編成 ・年間計画について ・研究について ・総会計画、役割分担
4/22		14:00	名簿作成委員会	大蔵小	
5/10	月	18:00	総会準備委員会 (お知らせ)	下沼部小学校	・研究会総会準備 (冊子、次第の確認 提案練習など) ・主任会について (内容、進め方、役割分担の確認)
5/12	水	14:00	川崎市立小学校 情報教育研究会総会 ・21年度 活動報告、会計報告 ・22年度 活動計画、会計予算案、役員選出 ・研究報告会	川崎市立下沼部小学校	
		18:00	情報教育研究会 歓送迎会		
5/19	水	15:30	常任委員会③	下沼部小学校	・研究の推進 第1回 授業研究会に向けて ・主任会の準備と確認
6/2	水	15:30	主任会 視聴覚主任 図書主任	下沼部小学校	・視聴覚主任の仕事 ・図書主任の仕事 読書感想文コンクール募集要項と 学校図書館の運営について
6/9	水	13:30	教育課程授業研究日		
6/12	水	13:30	教育課程授業研究日		
7/1	木	9:00	常任委員会④	住吉小	・第1回 授業研究会に向けて
7/12	月	18:00	常任委員会⑤ (お知らせ)	会場校	・第1回 授業研究会に向けて (指導案の綴じ込み)
7/14	水	13:30	第1回授業研究	会場校	授業者 平小 福山創 教諭
7/27	月	9:00	小教研 第49回 研究大会	幸市民館ほか	
7/30	金	9:00	夏季研修会	下沼部小学校	センターとの共同企画
8/3	火	9:30	神奈川県 視聴覚・放送 夏季特別研修会	横須賀市	
8/4	水	9:00	常任委員研修会	下沼部小学校	
8/4~ 8/6	水~ 金		図書 全国大会(静岡)		
8/9~ 8/10	月~ 火		視聴覚・放送 全国大会 (東京)	代々木オリンピックセンター	
8/18	水	9:00	教育課程授業研究日		
8/19	木		図書 大山大会		
8/20	水	9:00	教育課程授業研究日		
9/1	水	15:30	常任委員会⑥	下沼部小学校	・第2回授業研究会に向けて ・読書感想文について
9/15	水	14:00	読書感想文 地区審査	下沼部小学校	・読書感想文地区審査
9/18	土	9:00	読書感想文 全市審査	下沼部小学校	・読書感想文全市審査
10/6	水	15:30	常任委員会⑦	下沼部小学校	・第2回授業研究会に向けて ・ビデオ映像創作展について ・読書感想文表彰式、読書感想画



## (1) 平成22年度 情報（視聴覚・放送）主任会

日時 平成22年6月2日（水） 15:30～16:30  
場所 下沼部小学校  
参加者 79名（71校）

### 当日のプログラム

1. はじめのあいさつ
2. 本日の主任会の流れについて
3. すぐできる！すぐ伝えられる！50インチテレビ・電子黒板 活用&管理法
4. 情報モラル教育実践体験談（下沼部小学校の実践紹介）
5. 3つの地区に分かれての情報交換会（分科会）

多摩区・麻生区・・・	図書室前の教室
高津区・宮前区中・・・	図書室
中原区・幸区・川崎区・・・	パソコン室
6. おわりのあいさつ

昨年度に引き続き、各学校の情報（放送・視聴覚）主任を対象にした主任会を開催した。参加人数も昨年度よりも増加した。

主任会の前半では、各校に配備された50インチテレビの活用法についての紹介と情報モラル教育の実践を研究会の常任委員から行った。50インチの教科や様々な場面での活用方法についての実践例をいくつも紹介した。情報モラル教育の実践紹介では、研究を呼応しないでどのように取り組んでいったのかについて、現場の先生方の声を交えながら報告していった。

後半は、3地区に分かれて主任の先生方同士での情報交換会を行った。分散会で情報主任の先生からは、「学校ホームページ担当になったがどう運用してよいか。」「機器の管理方法について。学校の規模によっても違ってくるのでまどっている」「情報主任としての1年間の動きが見えない。」「50インチ特にSDカードを活用した授業を取り入れたい」「年度当初の校内の予算委員会で希望の物品購入ができない」などといった声が多く聞かれた。その声に対して様々な角度からアドバイスや意見交流をおこなっていた。今年度も情報（視聴覚・放送）主任会を通してそれぞれの学校での悩みや相談について有意義な情報交換を行うことができた。

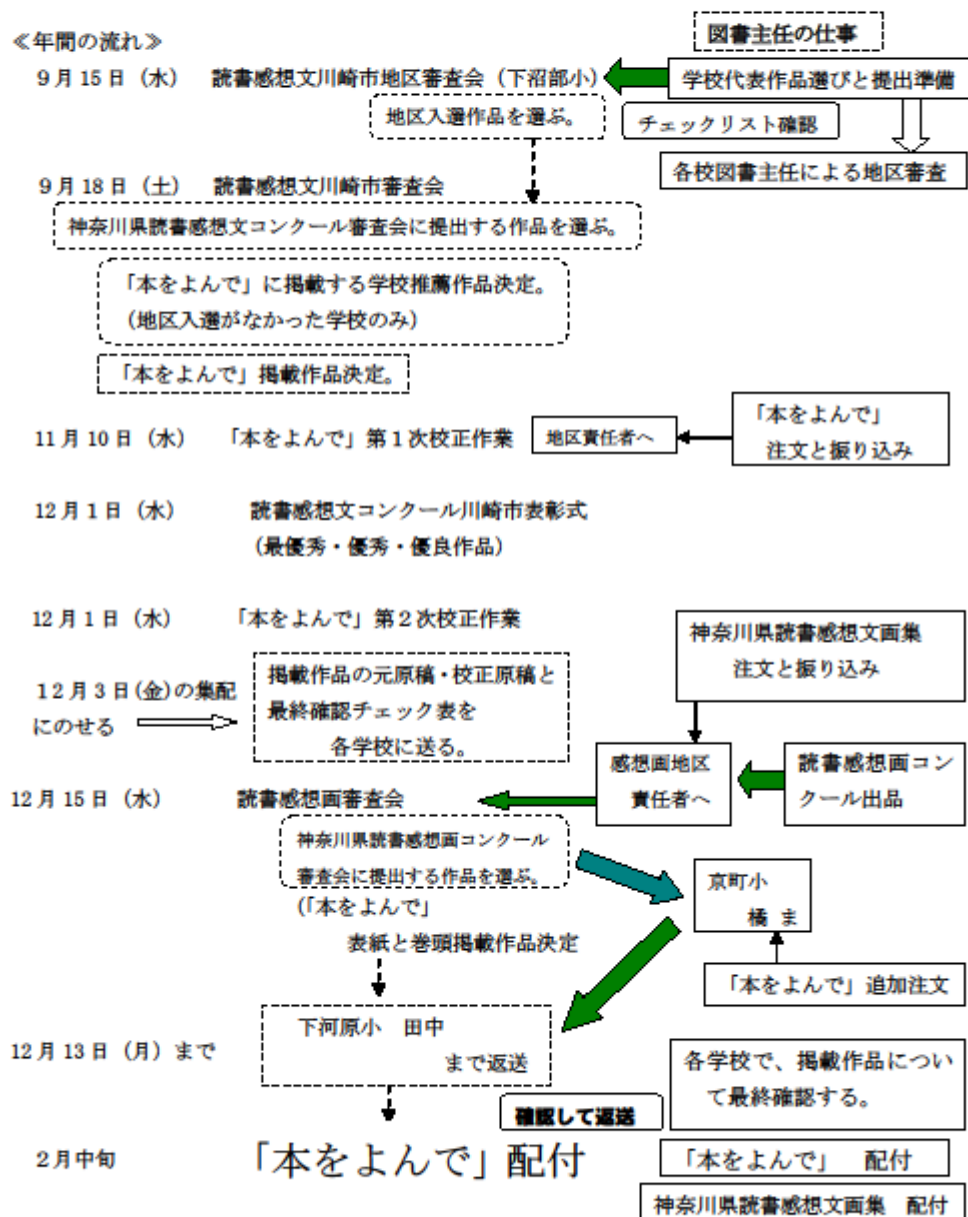
## (2) 図書主任会

〈日時〉 平成22年6月2日(水) 15:30～

〈主な内容〉

- ・9月に行われる読書感想文コンクール地区審査にむけての年間の流れ、応募要項の確認
- ・図書主任の年間の仕事

〈年間の流れ〉



(3) 夏期会員研修 (ICT)

川崎市総合教育センター・川崎市立小学校情報教育研究会共催研修会  
 研修名: 「教育の情報化」～教室の大画面テレビを徹底活用!～  
 日時/場所: 7月30日(金) 9:30～16:30 / 下沼部小学校  
 参加者: 常任委員40名, 一般会員15名, 役員, (協力: ウチダエスコ, ELMO)  
 指導・講評: 川崎市総合教育センター指導主事 小松良輔先生・樋口彰先生

川崎市総合教育センター・川崎市立小学校情報教育研究会 共催研修会

**2010年、夏だからできること**  
**7月30日は下沼部小で**  
**「明日の授業にすぐ生かせる」研修を!**

具体的な事例を参考に、自分の授業に応用できよう!

**研修名:「教育の情報化」  
 ～教室の大画面テレビを徹底活用!～**

教室に入った50インチの大画面テレビ。授業で活用するための「はじめの一歩」を楽しく分かりやすく研修します。デジタルカメラを使って、コンピュータをつなげて、教材視察の視点とつなげて「えっ、こんなに簡単に出来るの!」「こんな使い方があったら明日からでも授業に活かせる」といった内容の研修を行います。

前半は、各学校に一律搭載された電子黒板の活用、実践事例の紹介、後半は実際の教室で大画面テレビを活用した活劇アイデアを話し合い、ワークショップ形式で行います。実際に機室に集れて、話して、分かって明日から実際に授業で活用して見て下さい。

日程 平成22年7月30日(金)  
 9:30～12:00  
 13:15～16:30  
 場所 川崎市立下沼部小学校  
 申し込み締切日 7月9日(金)  
 ※行事費が無料の研修に基づいています。

(5月の研究会総会等で配布した研修案内)

今年度の夏季会員研修会は、川崎市総合教育センターとの共催研修会として実施されました。

第1部はウチダエスコ(株)やエルモ(株)のスタッフによる、電子黒板や大画面テレビの活用についてのデモンストレーション。



第2部はグループ毎に ICT 機器の操作体験をクエスト形式で行いました。

**MISSION 1 2 3 4 5 6**

50インチテレビテレビに接続したICT機器の表を切り替えてみよう。

- (1) 教材視察装置の操作
- (2) デジタルカメラの操作
- (3) ノート型コンピュータの操作と管理

川崎市立下沼部小学校



第3部では「どんな ICT をどのように使うのか」「どんな発問や指示、説明をするのか」を明確に意識して ICT を活用した授業づくりを行いました。その後、ICT を活用する場面に焦点化し 2～3 グループで発表会(模擬授業)を行いました。

第4部で代表グループのミニ授業を通して情報交換を行い各グループの研修成果を全体で共有し、センター指導主事から助言をいただきました。大変充実した1日となりました。



#### (4) 夏期会員研修 (図書)

日時：8月17日(金) 9:00～12:00

場所：住吉小学校

参加者：常任委員30名、一般会員10名、役員、

#### 研修の内容

研修のテーマは、「ブックトークをしよう！ ～楽しい読書指導のきっかけづくりに～」でした。

1. ブックトークとは。
2. ブックトークの実演



#### テーマ：「いただきます！」

〈紹介した本〉

『いただきます！』 解放出版社

『なるほどたべものサイエンス「こめ」』 ずずき出版

『すがたをかえる牛乳・たまご』 学研

『しょうたとなっとう』 ポプラ社

『やさいのおしゃべり』 金の星社

『めざせ！切り身マイスター 切り身の図鑑 1巻』

星の環会

『小林カツ代のいただきます ごちそうさま』

合同出版

3. ブックトークの原稿づくり
4. グループでの発表

テーマは、自由。自分のクラスや担当の教科ですぐに実践にいかせるものを、それぞれ考えました。総合的な学習の時間の課題づくりのためのテーマや、読書指導の広がりやねらったものなどができました。



5. 実践発表

「読書感想文にチャレンジしよう

～読書感想文をゴールにみずえた実践～」



常任委員が作成した「ブックトーク実践集」を参考資料にしました。暑い日でしたが、住吉小の涼しい図書室での自由に本を選べる環境の中で、有意義な時間となりました。



## (5) 読書感想文・読書感想画

【平成22年度事業日程】

- 第56回青少年読書感想文コンクール関係  
 ◇ 第22回読書感想画中央コンクール関係  
 ★ 読書感想文画集「本をよんで」第50号編集発行関係

市の活動	県の活動
6/2 ○図書主任会（下沼部小学校） ○読書感想文コンクール応募要項説明、関係資料配布	5/18 定例総会
9/15 ○読書感想文コンクール各地区審査会（下沼部小） ◇読書感想画コンクール応募要項書類各校配布	6/17 感想文感想画審査委員名提出
9/18 ○読書感想文コンクール川崎市審査会（下沼部小） ★市審査最優秀、優秀作品寸評記入	8/5 神奈川県夏期研究大会
9/28 ★読書感想文集「本をよんで」掲載者作品等の原稿入れ ★読書感想文集「本をよんで」予約申込書・チラシ・掲載者名簿原稿入れ	10/4 読書感想文コンクール地区代表作品一覧表報告
10/6 ★読書感想文集「本をよんで」まえがき原稿依頼 ○読書感想文コンクール市表彰式関係提案 ○読書感想文コンクール市表彰式出席依頼 ○読書感想文コンクール入選者一覧表各校配布	10/16 読書感想文コンクール地区代表作品搬入 10/14～10/24 第一次在宅審査
11/10 ★読書感想文集「本をよんで」予約申込者・チラシ・掲載者名簿各校配布 ○読書感想文コンクール表彰式事前準備（下沼部小） ★読書感想文集「本をよんで」第1次校正（#）	11/5 読書感想文コンクール第一次審査結果報告 11/8～11/18 第二次在宅審査
11/16 ★第1次校正原稿、原稿入れ ○読書感想文コンクール表彰式冊子原稿入れ	11/25 読書感想文コンクール県最終審査会
11/29 ★読書感想文集「本をよんで」地区申し込み締切 ～12/6 代金納入	12/26 6県読書感想文画集校正
12/1 ○読書感想文コンクール市表彰式（川崎市総合教育センター） ★読書感想文集「本をよんで」第2次校正（川崎市総合教育センター）	1/12 読書感想文画コンクール地区代表作品一覧表及び作品提出
12/8 ◇読書感想画コンクール応募作品地区提出	1/17 読書感想画コンクール県審査会
12/15 ◇読書感想画コンクール市審査会（下沼部小） 読書感想文・感想画賞状各校配布 ◇読書感想画掲載作品原稿入れ ◇読書感想画コンクール入選者一覧表各校配布	2/18 読書感想文・読書感想画コンクール県表彰式（平塚市中央公民館） 2月中旬 県読書感想文画集発行
12/13 ★読書感想文集「本をよんで」各校で最終確認	
1/11 ★読書感想文画集「本をよんで」第2次校正原稿入れ	
2月下旬 ★読書感想文集発行・各校配布	
2・3月 ★読書感想文集「本をよんで」を委員会、センターへ送付	

## (6) 第30回ビデオ映像創作展

### ① 主旨

児童や教職員が制作したビデオ映像作品を発表し合うことによって、ビデオ映像制作技術の向上を図り、併せて、伝達したいことを映像によって表現する力を育てる。

### ② 実施期日

平成22年12月1日(水) 地区審査会 川崎市総合教育センター

平成23年1月5日(火) 全市審査会 川崎市総合教育センター

平成23年1月20日(水) 表彰式 川崎市総合教育センター

### ③ 参加作品 児童の部：27点 教職員の部：3点 計30点

### ④ 受賞作品

#### <児童の部>

最優秀賞	学校探検	岡上小学校 平成21年度放送委員会
優秀賞	わたし達のお米づくり大作戦!	岡上小学校 お米ネットワーク
優秀賞	委員会紹介The 1st 音楽委員会	平小学校 放送委員会有志
奨励賞	シルエットクイズ これな〜んだ	末長小学校 放送委員会前期金曜班
奨励賞	太陽クラスの仲間たち	南百合丘小学校 3年1組太陽クラス
奨励賞	有馬小を紹介します	有馬小学校5年生
学校賞	川崎市立岡上小学校 川崎市立末長小学校 川崎市立はるひ野小学校	

(毎年たくさん作品を応募し、学校全体で映像作りに取り組んでいる学校を対象とした「学校賞」を今年度新設した。)

#### <教職員の部>

最優秀賞	おいしくそだってね☆おいもちゃん!	平小学校 福山 創
優秀賞	岡上っ子 元気で健康大作戦	岡上小学校 大久保 美恵子
奨励賞	自然教室 5年生へのメッセージ	坂戸小学校 青木 聖子

### 3. Web サイト・情報かわら版

#### (1) Web サイト

本研究会の活動内容や成果を広くアピールし、川崎市内外における情報教育の普及・発展に寄与するため、Web サイトを運用しており公開開始から11年目を迎えた。

##### ① ICT 活動アイデア実践集

各教室に配置された50インチ大型テレビなどを利用し、常任委員が「だれでも」「気軽に」「日常的に」使えるICT活用のアイデアをまとめた。今年度は1年～6年、特別支援も含めて25の実践例を掲載している。また「50インチTV接続方法」「Q&A」も載せてある。

授業に必要な機材を記載したり、指導計画や活動の流れなども入れ、すぐに実践が行えるようになっている。

Copyright © 2010 川崎市の情報教育研究会 All Rights Reserved

##### ② 便利に活用できる「資料室」

###### (研究紀要(詳細版)のアップ)

研究紀要にはページに限りがあり、ダイジェスト版になっている。そこで、研究会のWeb サイトには総会時に配布する研究紀要より、多くのページを使い、詳細になってアップをしている。ダウンロードをすることができるようになっている。また過去4年間の研究紀要(詳細版)もアップしてあるので、研究の流れもわかりやすくなっている。

###### (研究会で取り組んできた資料のアップ)

過去に研究会で取り組んできた指導計画や、事業で使った資料などをアップしている。また常任委員が作成したフリーウェアもあり、情報機器が充実してきている今、よりいっそう活用する機会が多くなってきている。

## お わ り に

私たちを取り巻く社会は大きく変容しつつあります。とりわけ高度情報化社会が到来した今、社会の変化に応じた適時適切な情報教育が求められています。また、新学習指導要領の改訂により、情報教育や教科指導におけるICT活用など教育の情報化に関わる内容について一層の充実を図る取り組みが期待されています。

川崎市立小学校情報研究会では、今年度の研究テーマを「自ら学ぶ力と豊かな心を育てる情報教育をめざして～メディア活用で育てる情報活用能力、メディア活用で伸ばす確かな学力～」と設定し研究を進めてまいりました。これまで同様に「川崎の情報教育」の確立に向けては、放送・視聴覚教育と図書館教育さらにはコンピュータ活用を柱とした情報教育の3つを融合させた形での理論研究・実践研究を深めてまいりました。また、川崎市総合教育センターとの共催研修など研修の充実にも取り組み、二回の研修では多くの会員の方々に参加をしていただきました。校務が多忙の中、ほんとうにありがとうございました。さらに本研究会が事業として取り組んでいる読書感想文コンクール・読書感想画コンクール、ビデオ映像創作展にも多くの作品が寄せられました。積極的な応募につきましても心から感謝申し上げます。

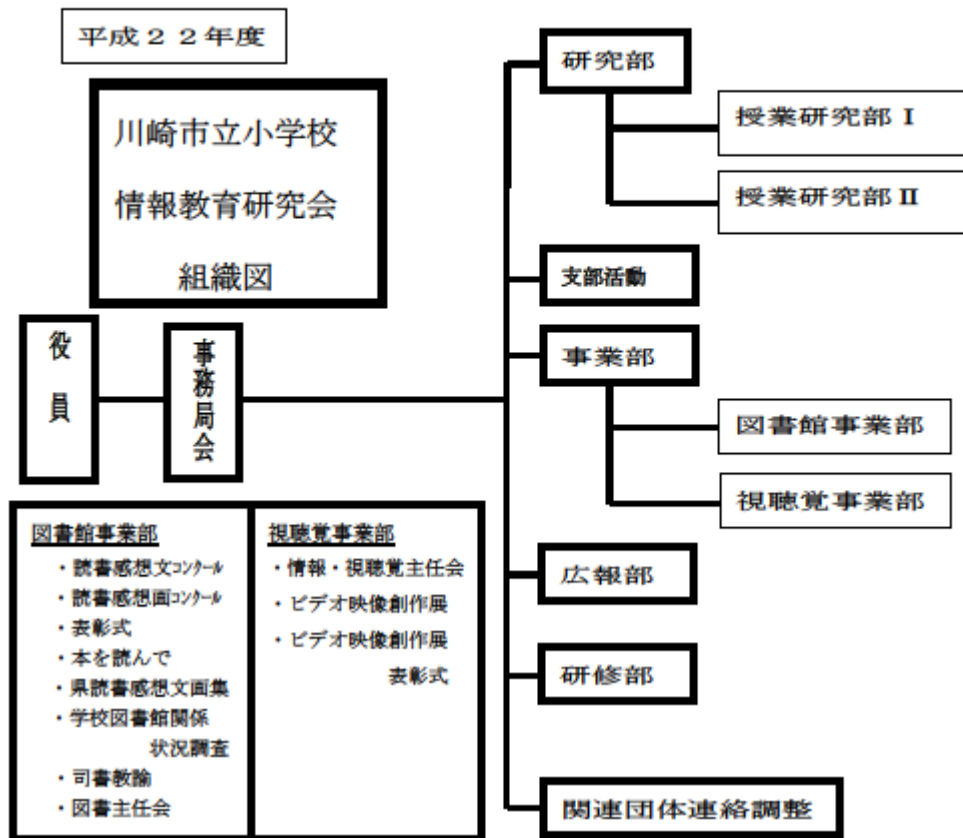
今後、新たな教育の情報化に向けては「川崎の情報教育」の観点から研究を深めていくとともに、新学習指導要領の主旨をふまえた上で、ICTの効果的な活用による授業実践や図書資料などメディア活用で育てる授業研究に取り組んでまいりたいと考えております。

この一年間の本研究会の研究・実践内容をご覧いただきご指導ご示唆をいただければ幸いです。

最後になりましたが、本研究会にこれまで多方面にわたり変わらぬご理解とご支援をいただきました川崎市教育委員会ならびに川崎市総合教育センターの皆様には厚く御礼を申し上げますとともに、今後も引き続きご指導・ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

川崎市立小学校情報教育研究会  
副会長 金子 進一郎





事務局会	・会長	1. 川崎市学校視聴覚教育研究協議会
	・顧問	2. 全国放送教育研究会連盟
	・副会長	3. 日本学校視聴覚教育連盟
	・事務局長	4. 日本教育工学協会
	・事務局次長	5. 神奈川県放送教育研究協議会
	・書記	6. 神奈川県学校視聴覚教育研究協議会
	・会計	7. 神奈川県教育放送番組
	・会計監査	8. 情報化推進指導者養成研修会
	・研究部長	9. 情報教育推進協議会
	・事業部長	10. 情報化推進協議会<センター>
	・広報部長	11. 平和教育映像教材等選定委員<センター>
・研修部長	12. わが町かわさき映像創作展審査委員会<センター>	
・支部長	13. 川崎市学校図書館協議会<2年継続>	
企画会		14. 読書のまち かわさき事業
		15. 神奈川県学校図書館協議会
	・事務局会	16. 司書教諭専門委員会
	・各副部長	17. 東部地区学校図書館活用フォーラム
	・関係担当者	18. 読書の学校
		19. かわさき図書館フォーラム

平成22年度 研究に携わった人

役員						
会長	高橋 邦夫	(南野川)				
副会長	掛井 孝明	(南百合丘)	宮城 曜一	(菅)	石堂 真理子	(住吉)
	原 伸子	(白幡台)	平井 弥三郎	(宮崎台)	中田 浩彰	(有馬)
	金子 進一郎	(幸町)	高橋 亨	(下平間)	竹口 政雄	(岡上)
	山田 和秀	(中野島)	水沼 富士位	(下小田中)	井部 良一	(はるひ野)
顧問	小島 晃宏	(子母口)	秋場 尚樹	(下沼部)	栗田 博美	(岡上)
会計	橋 真由子	(京町)	加藤 愛	(下沼部)	関谷 洋平	(下小田中)
会計監査	長沼 国徳	(久末)	飯田 智芳	(南生田)	若林 民夫	(木月)
事務局長	草柳 譲治	(夢見ヶ崎)				
事務局次長	根井 光洋	(日吉)	清水 弘彦	(下小田中)	椎名 美由紀	(土橋)
	佐藤 拓	(柿生)				
書記	谷澤 伸英	(南百合丘)	栗栖 里加	(岡上)		
特別常任委員		常任委員				
山口 嘉徳	(劝宿)	【川崎区】	小松原 和人	(東小田)	石黒 祐也	(旭町)
池谷 保久	(大戸)	【幸区】	添野 雅美	(南河原)	中田 優夏	(下平間)
中村 幸江	(下小田中)	【中原区】	田中 悦子	(下河原)	池田 ふみ子	(住吉)
家才子 雅樹	(梶ヶ谷)	【高津区】	西田 直美	(子母口)	松本 武	(子母口)
釘本 裕介	(久地)		川村 昌弘	(末長)	加藤 裕子	(末長)
青木 あゆ子	(宮崎台)		藤生 豊	(久末)	高橋 妙子	(上作延)
岩田 昭彦	(有馬)	【宮前区】	浜崎 俊治	(野川)	鈴木 朱美	(宮崎台)
宇津野 浩	(稗原)		田中 啓介	(平)	福山 創	(平)
酒井 えみ	(菅)		渡部 康夫	(白幡台)	三浦 美保	(犬蔵)
近藤 明彦	(麻生)	【多摩区】	和田 和子	(西菅)	石橋 純一郎	(菅)
		【麻生区】	山田 瞳子	(東柿生)	山里 昌士	(南百合丘)
		片岡 義順	(岡上)	武川 恭子	(真福寺)	
			倉田 亨	(はるひ野)		

## I. 研究報告

1. 川崎の情報教育 ..... 2
2. 今年度の研究 ..... 4
3. 授業実践
  - (1) 「確かな学力」をテーマにした研究授業 ..... 6
  - (2) 「情報活用能力」をテーマにした研究授業 ..... 1 2
4. 今後の課題（次年度へ向けて） ..... 1 8

## II. 事業報告

1. 平成 22 年度活動経過 ..... 1 9
2. 事業内容
  - (1) 情報（視聴覚・放送）主任会 ..... 2 1
  - (2) 図書主任会 ..... 2 2
  - (3) 夏季会員研修会（ICT） ..... 2 3
  - (4) 夏季会員研修会（図書） ..... 2 4
  - (5) 読書感想文・感想画コンクール ..... 2 5
  - (6) ビデオ映像創作展 ..... 2 6
3. Web サイト・情報かわら版 ..... 2 7

おわりに ..... 2 9

研究組織図 ..... 3 0

研究に携わった人 ..... 3 1